



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより

令和2年度 第4号
令和2年 7月2日

いつもと違う夏がやってきます

校長 水野裕司

5月は週1回の登校日、6月1週目は分散登校、2週目は分散登校と簡易給食、3週目の一斉登校、4週目の7時間授業実施と少しずつ学校での活動を増やしてきました。先週は、2年生と3年生が学区域内の生活科見学と社会科見学を行うなど内容的にも充実を図っています。この間、カラスが子育てで過敏になり、通行人を威嚇・攻撃することがあり、一部児童の通学路を変更せざるを得ない状況もありました。児童の登下校を見守りながら、「敵はコロナにあり」に加え、「カラスよ、おまえもか」といった心境になりました。順調に学校生活が戻ってきているように見えますが、休み時間になると、子供たちが密接になってしまう姿も見られます。本当に油断できない毎日です。東京都の感染者数も、毎日50人を超えており、まだまだ、安心できない状況が続いています。

また、新しい生活様式によるマスクの着用に加え、暑い夏を迎えて、熱中症の心配も増えています。一番暑かった日に、校庭でWBGT（熱中症の危険度）を測定したら28度でした。31度以上は屋外での運動禁止なのですが、その日の昼休みは、大事を取って外遊びを禁止しました。例年、子供たちは5月末の運動会に向けた練習を通して暑さに慣れ、夏を乗り切る体を作っていきます。今年は、外出の自粛で例年に比べ夏の暑さに向けた体の準備が十分にできていない児童が多いのではないかと心配しています。

さらに、例年は4月の始業式から1カ月頑張ると、ゴールデンウィークがあり、一息つくことができます。今年は、6月1日のスタートから8月8日の夏休み初日までの10週間の中で、連休は7月23～26日までの4連休のみです。授業開始から約1カ月、子供たちの中にも、そろそろ疲れが出て来るころだと思えます。

いつもとは違う夏であることに十分注意し、児童の様子をよく見ながら学校での教育活動を進めていきたいと考えています。ご家庭に置かれましても、十分な睡眠と栄養で、お子さんのコンディションを整えて学校に送り出させていただきますようよろしくお願いいたします。

— 手洗いの勧め（2） —

先日、学校薬剤師が、教室内の空気の点検をするため来校した時の会話です。
副校長「コロナの関係で大変なのではないですか。忙しい中、ありがとうございます。」
薬剤師「いや、それが例年より、お客さんが減りました。特に、風邪薬が、あまり売れないんです。手洗いをみんながしっかりするようになったからだと思います。」
「今年のインフルエンザは、あまり流行しませんでした。手洗いの徹底が影響していると考えられます。」というニュースをテレビで見たことはありました。その時は「へえ～、そうなんだ。」と聞き流していました。しかし、こんなに身近な方に同じような話を聞くと、「手洗いは、大切だな。」と改めて感じました。粘り強く、指導を続けていきます。